

感謝します！ 教団救援募金報告

佐久間 文雄（東日本大震災救援対策本部委員）

教団救援募金に特段のご配慮を頂き、全国募金は2014年11月17日現在9億1357万5351円の尊い献金をいただき、言葉に尽くせない感謝です。この献金を基にして対策本部で慎重に協議し、被災教会や支援活動のために使用させて頂いております。

教会堂の再建復興として、奥羽教区1教会、東北教区17教会、関東教区12教会、東京教区1教会に教区の申請に基づき支援をさせて頂き逐次献堂式を挙行され、教会員一同の喜びと地域への証しに用いられています。感謝です。こひつじキャンプは、12回実施しまして、放射能汚染地域に暮らす子供たちが、安心して呼吸でき遊べる場所を確保して国内と台湾でキャンプを行っています。また、被災された児童養護施設や障害者支援施設への財的支援など多岐にわたっています。今後とも10億円を目標とし、鋭意支援を必要とする方々に寄り添いながら支援して参りますので、宜しくお願いいたします。

第64回総会期第4回「東日本大震災」被災支援委員会報告

小池 正造（被災支援委員）

11月11日常置委員会後に、第4回被災支援委員会が行われました。

はじめに、秋山委員長より、中越地震から10年が過ぎ10月23日に被災5教会（十日町教会、栃尾教会、小出教会、見附教会、長岡教会）を、教区四役で訪問したことが報告されました。金刺主事より、会計報告がなされ10月31日時点での残高は、12,315,117円と報告されました。小林委員より、埼玉地区・上尾合同教会がキッチンボランティアに参加されたことが報告されました。

水戸中央教会の現状について報告され、作業工程どおりに進んでいないことが分かりました。工事計画の変更などによる責任について、水戸中央教会が対応することなどを確認し、変更後の作業工程を提出していただく上で、工事計画を承認しました。

佐野教会への支援について、既に工事を終えている200万円を申請額とすることを確認しました。

今後の被災支援ニュースの発行について、月刊ではなく、委員会ごとに発行することとなります。ご了承ください。

平山委員より、新潟地区・十日町教会を会場に行われていた「雪堀ツアー」の継続案について、教区内青年活動との関わりの中で行うことが提案されました。協議の結果、宣教部・伝道委員会が窓口となり、実施していく方向で、継続して検討することとなりました。決まり次第、ご報告いたします。

次回委員会は、2月3日（火）常置委員会後となります。

日本基督教団東日本大震災救援募金

*現在の募金状況（2014.12.2現在）

¥ 915,947,756

「東日本大震災救援募金」

¥ 372,219,644

「東日本大震災海外献金プロジェクト」

『宇都宮上町教会新会堂建築の現状』

宇都宮上町教会主任担任教師 澤田武

『東日本大震災被災支援 NESW』No. 69 に第 1 回目の現状報告を致しました。再び、今回第 2 回目の現状報告の時が与えられ感謝致しております。

宇都宮上町教会の震災復興、新会堂建築にあたり、教団、教区、地区の諸教会・伝道所・個人の方々から力強いお祈りの言葉と、共に痛みを担いつつ復興をするという思いの献金に支えられて新会堂の建築を始めることができ、工事が進められますことは真に感謝であります。

宇都宮上町教会の新会堂建築計画は、実際の工事を始めるまでには、思いもよらない困難がありました。消費税率の引き上げ、それに伴う建築費用の高騰。建築事業者の変更。計画の見直し。一時は計画の実施が難しいのではないかとの思いもありました。祈りなしでは、何も進まない。そんな時もあり、こうして建築報告ができますことはただ、主の祝福と恵みと感謝致しております。

新会堂建築は、9月7日主日礼拝後に起工式を行い、実現に至りました。13日（土）から建築位置確定の測量、9月18日（木）から地盤強化のために9メートルの鋼管を110本地面に打ち込む工事。地盤強化工事は29日（月）に終了。その後地下収納部分の基礎工事から始め、現在、会堂本体部分の基礎工事と進んでいます。

10月12日主日礼拝後に定礎式を行い、12月4日（木）現在では、会堂本体の基礎型枠を解体し、立ち上がりの基礎部分の工事に進んでいます。給排水、電気関係の基礎部分への設置も並行して進んでいます。

基礎が建ち上がり、壁やドアの位置、給排水、コンセントの位置が決まってきました。今まで図面として見てきた新会堂が、実際の建物として迫ってくる思いが致します。年内に基礎工事は終了する予定です。新年早々から躯体部分の組み立てが始り、竣工は2015年5月20日の予定です。

礼拝は現会堂を使用しています。現在、工事の関係で2階礼拝堂に行くには、幼稚園園舎を通り抜け、エレベーターを利用する方法を実施しています。また、今まで駐車場として利用していた場所に新会堂を建築致しますので、今後の駐車場の対応については敷地を同じくする、みふみ幼稚園と共に考えて行くこととなります。

最後に、新会堂建築は、みふみ幼稚園の認定こども園化に伴う、新園舎の建築工事と並行して行われています。静かな住宅地にあるご近所にとっては、工事に伴う騒音、振動、工事車両の往来など大変なご迷惑になっていると思いますが、ご近所の方々には「楽しみです」などあたたかい言葉をかけていただき、ただ感謝の思いで一杯です。写真は南西方向（新会堂正面）からの全景（12月5日）です。

